

質問 図書館のリニューアル工事も終了し、3月の春分の日には式典が予定されている。元年9月7日に第1回目の「瑞穂町の図書館をみんなで考え・つくるワークショップ」が開催されてから4年



榎本 義輝 議員 (自民誠和会)

新たな図書館の運営について



町長 ワークショップでの意見は可能な限り反映



リニューアルされた図書館

1月22日までで計6回を数えるが、リニューアルに反映された事項などを確認する。また、図書館の集客力を高めるために雑誌の付録の活用方法、リクエストの電話予約や広域利用などについて伺う。
町長 ワークショップでの多くの意見は可能な限り設計に反映した。誌の付録の活用は新たな来館者を呼び込む有効な手段の一つとして考えていきたい。

下野 義子 議員 (公明党)

プレコンセプションケアの取り組みについて問う



町長 妊娠や出産を大切に考えることは重要

大切に考えることは重要

質問 プレコンセプションケアは、将来の妊娠を考えながら若い男女が自分たちの生活や健康管理に向き合うことである。3年2月に閣議決定された成育医療等基本方針にも取り上げられている。不妊症や合併症妊娠、先天異常や低出生体重児の出産などを無くすために、命の教育、健康管理の意識改革と実践、医療機関との連携などプレコンセプションケアの取り組みが求められる。町長に所見を伺う。



愛情に包まれ幸せいっぱい家族

生殖に関する正しい知識を得て、妊娠や出産を大切に考えることは、世代の人たちが生活や子どもたちが健康に育つ可能性を広げる。町では、若年の健康診査、子宮頸がん検診、風しん抗体検査や両親学級などの事業を提供している。これらは、若い世代の人たちが生活や健康を振り返り、対策につなげるプレコンセプションケアの一環と考える。



小山 典男 議員 (自民新政会)

歩行者の安全確保の推進を



町長 安全の確保や適正な道路管理・整備に努める



質問 道路の側溝にかかるとは、昭和の時代からかわっていないものがほとんどである。従来の側溝ふたがかかっている道路では、幼児や高齢者が、ふたとふたの間でできる穴につままず、転倒してしまうことがあり危険である。そこで、幼児や高齢者が安全に安心して道路を歩けるような整備を計画的に進めるべきと考えるが、町長の所見を伺う。

に更新する。新年度に、道路整備方針の策定に着手する。道路整備における方向性を整理し、維持管理を計画的に進めていく上での指針と

質問 誰でも乗れるコミュニティバスの実証実験運行が昨年10月より開始され、小型バス3台、中型バス2台により5コースで運行されている。しかし、武蔵野コースについては以前より民営バスの箱

根ヶ崎駅東口から福生方面に行く人や福生駅東口から都営住宅までの利用が多く、コミュニティバスの利用者があまりいない。武蔵野コースは早急に廃止して、元狭山地区の町内の路地を走るコースに変更すべきと考えるが、町長の所見を伺う。
町長 昨年10月から実証実験運行を開始して、5か月が経過したばかりであり、見直しは利用実態を踏まえて、検討する。武蔵野コースの利用は非常に少ない状況であるが、一部廃止については、地域住民の意見を聞いた上で実施しなければならぬ。2年間の実証実験運行期間は、まずは利用実態を踏まえ、改善を図っていききたい。税金で賄うべき地域公共交通の在り方について、議会や住民の方々と議論を重ね、検討を進めていく。

町長 側溝にかかるとは、つままずきそうな箇所がある場合には、すぐに対応する。地域の方々からいただく連絡を基に、速やかに補修、改善し、状況によっては新しいふた



側溝の補修工事 (石畑地区)

石川 修 議員 (自民新政会)

瑞穂町コミュニティバスの運行状況と今後について



町長 まずは改善を図りたい



武蔵野地区を走行するコミュニティバス